

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	栃木県	市町村名	足利市	大学名	
派遣日	令和6年11月19日(月曜日) 13:30~16:30 第Ⅰ部 開会・日程説明 13:30~13:40 授業参観 13:45~14:30 研究協議・指導講評 14:35~14:55 第Ⅱ部 講話 15:00~16:30				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 <u>派遣</u> / 遠隔				
派遣場所	足利市立山辺小学校				
アドバイザー氏名	市川 昭彦 先生				
相談者	足利市教育委員会事務局学校教育課職員 帰国・外国人児童生徒教育拠点校日本語教室担当教員 外国人児童生徒教育専門指導員(市会計年度任用職員) 外国人児童生徒教育支援員(市会計年度任用職員)				
相談内容	足利市帰国・外国人児童生徒教育連絡協議会における指導助言を依頼した。 本市の課題として、日本語指導担当者の研修機会等が少なく、情報交換も十分とはいえないため、よりよい指導法や効果的な教材等について、指導助言や協議を通して学ぶ必要がある。また、個別の指導計画を、在籍学級の担任や日本語指導担当者等が共有し改善することにより、一貫した連続性のある指導をしていく必要がある。 今回は、日本語教室の授業を参観し、市川先生より授業実践や指導法等についての指導助言をいただいた。また、JSL カリキュラムなど、幅広い視点から、日本語指導に効果的な教材や指導法についての講話をお願いした。				
派遣者からの指導助言内容	第Ⅰ部 ○授業参観・研究協議について ・めあて、展開、振り返りが一貫した流れとなっている授業となっており、児童も何を学んだかははっきりとわかっていた。 ・細かい部分で多くの手立てが見られ、その手立てが効果的にはたらき、児童も安心して授業の取り組むことができていた。 第Ⅱ部 ○講話について 「外国人児童生徒教育への理解と指導法について」と題してご講話をいただいた。 ・「外国につながる児童生徒にかかわる現状と近未来」として、制度について、日本語指導が必要な児童生徒数の変遷などについて。 ・「JSL カリキュラム等について」として JSL 5 支援(理解支援、表現支援、記憶支援、情意支援、意欲支援)の実践について。 ・取り出し指導の意義等について。				

(様式 3)

相談後の方針の変化、今後の取組方針等	・今回は様々な立場の指導者が一堂に会して協議を行ったが、それぞれの立場からできることや連携していくこと、すぐに実践できる内容等をご指導いただいた。 ・今後も指導者の研修機会を定期的 to 実施し、研究協議や情報交換等を行いながら、よりよい指導法や効果的な教材の活用等について考えていきたい。 ・現在、多くの学校に日本語指導が必要な児童生徒が散在しており、対応に苦慮している。各校で目の前の児童生徒それぞれに合った適切な指導を行うことができるように、今回ご指導いただいたことを周知していきたい。
--------------------	--

1 枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。